

The Japanese Council of Nuclear Neuroimaging

第25回日本脳神経核医学研究会

会期: 2024年11月9日(土) 15:00 - 17:00

会場: パシフィコ横浜

会議センター 3F「304」

会費: 3,000円

核医学専門医・PET核医学認定医・核医学診療看護師の方々には、5単位が付与されます。

テーマ:

認知症・神経変性疾患における FDG-PETと脳エネルギー代謝

総会 15:00 - 15:10

開会の辞 寺田達弘(静岡てんかん・神経医療センター 脳神経内科、

浜松医科大学 光先端医学教育研究センター

フォトニクス医学研究部 生体機能イメージング研究室

企業広告口演 5分×2

講演会 15:23 - 16:10

座長: 木村泰之(国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 脳機能画像診断開発部)

高堂裕平(量子科学技術研究開発機構・量子生命科学研究所)

1. 15:23-15:48 (20分講演、5分質疑) 「認知症・神経変性疾患におけるエネルギー代謝異常」

高堂裕平(量子科学技術研究開発機構・量子生命科学研究所)

2. 15:48-16:13 (20分講演、5分質疑) 「認知症・神経変性疾患の病理組織学的検討」

清水 宏(新潟大学脳研究所病態神経科学部門病理学分野)

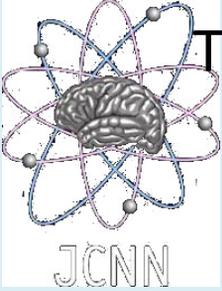
3. 16:13-17:00 (40分講演、7分質疑) 「認知症・神経変性疾患におけるFDG-PET」

石井賢二(東京都健康長寿医療センター研究所・神経画像研究チーム)

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内 日本脳神経核医学研究会事務局

E-mail: infojcn@convention.co.jp TEL: 03-3508-1243 FAX: 03-3508-1302



認知症・神経変性疾患における FDG-PETと脳エネルギー代謝

FDG-PETの脳への保険適応は、脳腫瘍と手術を前提としたてんかんに限られています。しかし近年、認知症や変性疾患においてエネルギー代謝異常が病態に関与することが報告され、FDG-PETや、その他のエネルギー代謝異常を評価するイメージングツールへの注目が集まっています。本研究会では、認知症・神経変性疾患における脳エネルギー代謝異常のメカニズムや神経病理に関する最新の知見から、認知症・神経変性疾患へのFDG-PETの実応用の可能性までを含めたセミナーを企画しました。本テーマについて皆で議論することで、伝統あるFDG-PETイメージングへの理解を深めたいと思います。

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として平成12年11月3日に発足しました。脳神経核医学は、脳の機能画像をつくるためのより効果的な診断薬剤の開発、精度高い機械の開発などの基礎的な研究から、脳疾患の早期診断を行い治療に役立てる臨床研究までを包括しています。その進歩は目覚ましく、従来は未知の領域であった脳機能・脳病理を画像として可視化することが可能になりつつあります。その応用分野は脳卒中、脳腫瘍、てんかんに始まり、精神疾患、そして近年は認知症への応用が期待されています。

本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳神経核医学に関するさまざまな課題に対応するために、議論の場を設置し、検査法の確立、臨床応用のためのガイドラインの作成、学術活動、他の脳神経科学分野とのトランスレーションなどを国際的な枠組みの中で情報交換を行っていきます。

脳核医学に関する基礎および臨床研究を通じて我が国の学術文化の発展と国民の保健と福祉の向上に資するために、是非本研究会にご参加下さい。

入会のご案内

この入会申込PDFファイルを出力し、必要事項を記入の上、下記事務局へFaxでお送りください。

<http://www2.convention.jp/jcnn/index2.html>

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社社内 日本脳神経核医学研究会事務局

E-mail: infojcnn@convention.co.jp TEL: 03-3508-1243 FAX: 03-3508-1302